

第9回 高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会  
平成29年度 総会

日 時 : 平成29年5月27日(土) 10:20~10:50  
場 所 : 高知市文化プラザ かるぽーと 小ホール

議 事 次 第

1. 開会
  2. 会長 片岡雅文 挨拶
  3. 審議事項
    - <第1号議案> (1) 28年度事業報告
    - (2) 28年度決算報告
    - (3) 28年度監査報告
  
    - <第2号議案> (1) 29年度事業計画(案)
    - (2) 29年度予算決議(案)
  
    - <第3号議案> 29年度会長・役員選出(案)
  4. 閉会
- 

\*巻末資料\*

○総括

会長 片岡雅文

○規約(平成29年5月27日現在)

○会員名簿(平成29年5月27日現在)

# 「高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会」

## 平成28年度事業報告

1. 4月1日『飛騰 第97号』中刷会報 発行  
私のテーマ 「浦戸を愛した“兄さん”の思い出」吉松 由宇子  
話題人インタビュー ノンフィクション作家 小松 成美 氏  
「人生は『冒険』」  
こぼれ話 犬歩棒当記(25)「師弟の契り」宮川 禎一  
話してみるかよ 「龍馬さんにお尋ねしたいことあり」鈴木 典子
2. 平成28年4月16日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室  
【理事会】第8回総会大会準備について  
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定  
【月例会】会員発表 小島 博明「長州藩主より拝領の龍馬短刀」
3. 平成28年5月28日(土)  
第8回 現代龍馬学会 総会・研究発表会 於：国民宿舎桂浜荘  
テーマ「夢新たに」  
【基調講演】  
下関市立歴史博物館館長補佐(下関市立東行記念館長)古城 春樹 氏  
「薩長和解から盟約締結へ — 長州内部事情と語られない過程 —」  
【研究発表】  
網屋 喜行 「生誕200年!吉田東洋はどのように研究されてきたのか  
— 坂崎紫瀾から、龍馬記念館の展示まで —」  
竹内 土佐郎「明治維新に華と散った安田の志士たち — 二十三士に想う —」  
土佐史談会理事 今井 章博 氏 「大町桂月の『伯爵後藤象二郎』余話」  
宮川 禎一 「龍馬の刀をめぐる諸問題」  
川崎 弘佳 「子ども・龍馬フォーラムからスタートした  
『世界に折り鶴を送ろうプロジェクト』」  
前田 由紀枝「家族の肖像③『坂本家資料に見る“坂本龍馬”』」
4. 平成28年6月18日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室  
【理事会】第8回総会大会総括  
第9回総会大会開催について  
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定  
第8号紀要発行スケジュールについて  
パネル展について  
【月例会】会員発表 前田 由紀枝「坂本弥太郎資料を中心に」
5. 7月1日『飛騰 第98号』中刷会報 発行  
私のテーマ 「龍馬暗殺の謎・黒幕は誰だ?土佐藩犯人説への考察(上)  
『龍馬と後藤象二郎』小島 博明  
特集 第8回現代龍馬学会総会・研究発表会 テーマ「夢新たに」  
こぼれ話 犬歩棒当記(26)「007は二度死ぬ」宮川 禎一  
コラム・龍馬のこと 「龍馬とジョン万次郎」江上 英治  
話してみるかよ 「坂本龍馬、脱藩の道は果たして…」坂本 世津夫

6. 平成28年8月16日(火) 臨時理事会 於：坂本龍馬記念館B2講義室  
 第9回大会開催について  
 月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定  
 第8号紀要発行について
7. 10月1日 『飛騰 第99号』中刷会報 発行  
 私のテーマ 「龍馬暗殺の謎・黒幕は誰だ？土佐藩犯人説への考察(下)  
 『私論として』小島 博明  
 話題人インタビュー 造形作家 藤原 豊 氏  
 「龍馬は“男が惚れる男”」  
 こぼれ話 犬歩棒当記(27)「父親のよろこび」宮川 禎一  
 コラム・龍馬のこと 「九反田開成館」井倉 俊一郎  
 話してみるかよ 「一宮幼稚園版・坂本龍馬検定」宮 英司
8. 平成28年10月15日(土) 理事会・月例会 於：国民宿舍桂浜荘  
 【理事会】第9回現代龍馬学会について  
 月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定  
 紀要第8号発行について  
 【月例会】会員発表 岩崎 義郎「福岡家御用日記の不思議」
9. 平成28年12月17日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室  
 【理事会】第9回現代龍馬学会について  
 月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定  
 紀要第8号発行について  
 【月例会】発表 今久保 約雄 氏 (香美史談会会長)「戊辰戦争の従軍者たち」
10. 1月1日 『飛騰 第100号』中刷会報 発行  
 私のテーマ 「九反田・開誠館をもっと知ろう  
 『近代日本の礎を築いた開成館の役割とその検証』井倉 俊一郎  
 話題人インタビュー 京都国立博物館上席研究員 宮川 禎一 氏  
 「龍馬も考古も面白い」  
 こぼれ話 犬歩棒当記(28)「ひねりが効いている」宮川 禎一  
 コラム・龍馬のこと 「時代が変わってもやっぱり“龍馬”」竹内 土佐郎  
 話してみるかよ 「ぼくらの平和活動『世界に平和の折り鶴を送ろうプロジェクト』」  
 仁井田 恵子 氏
11. 平成29年2月18日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室  
 【理事会】第9回現代龍馬学会について  
 月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定  
 【月例会】発表 今井 章博 氏 (土佐史談会理事)「『汗血千里駒』以降の龍馬ブーム」

「高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会」  
平成29年度事業計画（案）

- ① 定期総会 2017年5月27日（土）
- ② 現代龍馬学会大会開催 2017年5月27日（土）  
会員の研究発表
- ③ 理事会・月例会  
勉強会と記念館・会員からの報告、交流  
（4月、6月、10月、12月、2月）
- ④ 「飛騰」中刷会報 発表  
年4回（1月・4月・7月・10月）の記念館だよりに差込見開き4ページ  
「私のテーマ」  
「“話題人”インタビュー」  
「こぼれ話」「コラム・龍馬のこと」「会員便り “話してみるかよ”」
- ⑤ 第9号紀要発行（2018年1月）

その他

大会運営委員会、編集委員会、ホームページ委員会、例会委員会の各委員会のもと会務を執行する。

- 1、大会運営委員会 委員長 前田由紀枝
- 2、編集委員会 委員長 宮 英司
- 3、ホームページ委員会 委員長 亀尾美香
- 4、例会委員会 委員長 江上英治

## 総括

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、「革命的な時代を生きた坂本龍馬に学び、その志を受け継いでいこう」という趣旨のもと、2009（平成21）年に発足しました。

これまで8年間、毎年春に総会と研究発表会を開催し、研究発表の成果を『紀要』にまとめて出版してきました。また、2カ月ごとに例会と研究発表を行うとともに、龍馬記念館発行の機関誌『飛騰』の学会ページを作成してきたほか、会員それぞれのテーマにもとづいたパネル展示も開催するなど、活動を続けてきました。

この間、私たちの活動を支えてくださってきた龍馬記念館のスタッフの皆さんに、あらためて感謝したいと思います。

学会の活動の中心ともいべき春の研究発表会は、県内外の多くの人たちの参加と協力を得て、充実したものになっています。2016年の第8回は、「夢新たに」をメインテーマにして、77人が参加して熱心な発表と討論が行われました。

特別講演には、龍馬と縁の深い下関市の市立歴史博物館館長補佐、古城春樹さんをお招きし、「薩長和解から盟約締結へ」という演題で、興味に富んだお話をいただきました。また、鹿児島県立短期大学名誉教授の網屋喜行さんをはじめ、6人による研究発表は、多年の蓄積をもとにした、知見に満ちたものでした。

いま、立ち止まって私たちを取り巻く時代状況を見ると、国の内外に切迫した課題が山積していることに気づきます。これから先、私たちはどのような方向に向かって歩んでいけばいいのか？ 龍馬の生涯と思想に学び、自由と平和の精神を引き継いでいくことがますます大切になっているように思われます。

ことしは龍馬が大政奉還に精魂を傾け、中岡慎太郎らとともに凶刃に倒れて150年、来年は明治維新から150年という記念の年に当たっています。龍馬記念館のリニューアルともあわせ、学会の活動を今後いっそう活発にしていきたいものです。

会長・片岡雅文